

WEEK8 キャリアパスを考える 2

～ポートフォリオの利用～

ワークシート目次

1. SESSION 1 構造化アカデミック・ポートフォリオ
2. 各セッションの多肢選択課題一覧
3. 参考文献

このセッションでは, SESSION1 にある Handout のみで進行します. 他に Question などはありません.

WEEK8 の目的と目標

目的 教育と研究についての活動を俯瞰し, 大学教員としてのキャリア・パスを展望する

到達目標

1. 構造化ポートフォリオと作成の意義を説明できる
2. SAP チャートの意義と全体構成を説明できる
3. SAP チャートの具体的な作成ステップにしたがい自分のチャートを説明できる

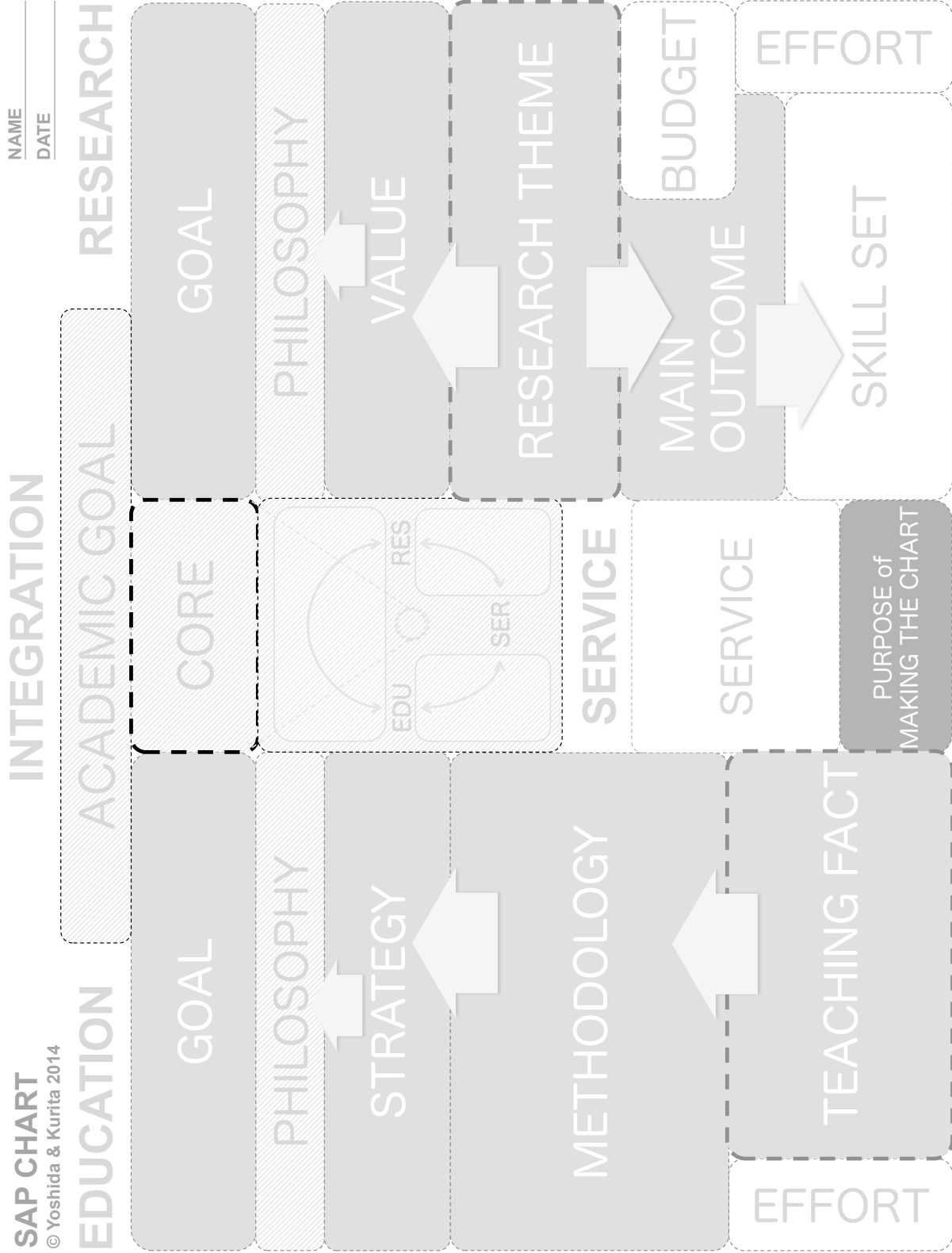




1. SESSION 1 構造化アカデミック・ポートフォリオ

次のページにはこのセッションで使う Handout があります。この WEEK8 では通して使いますのでお手元にご用意下さい。なお、A4 で添付してありますが、実際にチャートを作成される際には A3 サイズへの拡大をおすすめします。

W8.S1.Handout (次のページ)



6. セッション課題一覧

ここでは、各セッションで出題された課題を再掲しています。復習等にお役立てください。

W8-1 構造化アカデミック・ポートフォリオの説明として、適切なものを全て選んでください。

- 1) 構造化アカデミック・ポートフォリオとは、大学教員としての活動について構造的にふり返り、根拠資料によって裏付けながら記述した、厳選された文書のことをいう。
- 2) 構造化アカデミック・ポートフォリオが取り扱うのは、大学教員としての主な任務である「教育」と「研究」に限られる。
- 3) 構造化アカデミック・ポートフォリオの作成方法は自由であり、参考にすべきフォーマットも何もない状態から書き始める。
- 4) 構造化アカデミック・ポートフォリオを作成することで、よりよいキャリア・パスを考える機会となる。

W8-2 SAP チャートについての説明として、適切なものを全て選んでください。

- 1) SAP チャートは、構造化アカデミック・ポートフォリオを書き終えた際に、まとめの意味で書き込むものである。
- 2) SAP チャートに記入することで、社会が大学教員としての自分に期待していることを整理することができる。
- 3) 構造化アカデミック・ポートフォリオの目的は現在までの自分をふり返ることであるため、SAP チャートを作成する際には、「これからのこと」を極力書かないように注意する。
- 4) SAP チャートを作成することで、構造化アカデミック・ポートフォリオの構造を可視化することができ、それを作成するガイドとなる。

W8-3 SAP チャートの教育の欄を記入する手順についての説明として、適切なものを全て選んでください。

- 1) まずは左下の「Teaching Fact」に、今までの教育経験を記入する。
- 2) 2番目に、「Teaching Fact」の上の「Methodology」に、各教育場面で用いている方法・心がけていること、および、今後用いてみたい方法・心がけたいこと、を記入する。
- 3) 3番目に、「Goal」の欄に、理想の自分像を記入する。
- 4) 最後に、「Goal」に書いた内容を踏まえて、今後そのようになるためにはどのような策略を持てばよいかを考え、「Strategy」の欄に記入する。

W8-4 SAP チャートの研究の欄を記入する手順についての説明として、適切なものを全て選んでください。

- 1) まず右上の「Goal」に、これから取り組みたいと思っている研究テーマを記入する。
- 2) 右下の「Research Theme」には、今取り組んでいる研究テーマのみを記入する。
- 3) 「Main Outcome」には、「Research Theme」に記入した研究テーマとの関連性の有無に関係なく、今までの自分の主な業績を列挙する。
- 4) 「Value」の欄には、「Research Theme」で書いた研究テーマが持っている意義や目的について記入する。

W8-5 SAP チャートのサービス・統合の欄を記入する手順についての説明として、適切なものを全て選んでください。

- 1) SAP チャートの下部にある「Service」の欄には、社会貢献活動としてボランティア活動や公開講座担当経験などについて記入するとともに、各種委員会委員としての活動歴についても記入するとよい。
- 2) 「Integration」の欄に記入する際には、「教育」「研究」および「サービス」について記入してきたことを見直し、それぞれの関係性について考え、互いに寄与あるいは貢献していることについて記す。
- 3) 「Core」の欄には、今まで SAP チャートに書いてきたあらゆる活動をするうえで、あなたが一貫して持っている姿勢や態度について、考えたことを記入する。
- 4) 「Academic Goal」の欄には、現実的な短期的目標などは書かず、自分の究極的な目標だけを記入することで、意識を高めることができる。



7. 参考文献一覧

Debowski, S. (2012) *The New Academic: A strategic handbook*. Maidenhead, Berkshire: Open University Press.

大学教員の職責およびあり方について詳細に解説されています。

吉田壘・栗田佳代子 (2014) 構造化アカデミック・ポートフォリオの開発 日本教育工学会研究会, 15-21

SAP チャートについて解説されています。